



審議経過	<p><b>1. 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議資料 1～3、副委員長提出資料の説明</li> <li>○傍聴希望者についての説明と委員からの承諾。</li> <li>○議長選任（作野教授）</li> </ul>
	<p><b>2. 議長挨拶</b></p>
	<p><b>3. 議題</b></p> <p>(1) 地域自治組織と公民館のあり方について（資料 1-1、1-2、副委員長提案資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域自治組織と公民館のあり方についてバイタルリード、事務局、副委員長より説明。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長の提案にある地域づくりの体制が理想であることは理解するが、実際の現場ではマンパワーが足りておらず、提案にある体制を地域に適用させていくのは難しい。</li> <li>・理想の体制を地域に適用させていくため、各地区とどのように調整するかを行政が考える必要があるのではないか。</li> <li>・人口規模など地域ごとの特性に応じた体制づくりの選択肢を提示してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域自治組織の部会や委員会の中には、「支え合い」、「助け合い」、「ふれあい」等の名称が付いているものもある。これらの名称として示された機能が地域において必要とされているのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織や公民館のあり方に議論が集中しているが、この計画では、市として過疎地域をどう捉えるか、という点が重要となる。</li> <li>・地区の状態をライフステージに例えた場合、各地区がどの状態にあるのか、地域の体力がどれくらいあるのか等の把握も必要ではないか。</li> <li>・各地区でまちづくりプランを改定することも重要であるが、担い手や組織の体力を考慮していくべき。</li> <li>・地域づくり体制の見直しに関して、行政が方向性を示し、伴走支援を行っていくうえでプラン改定などに取り組むことが望ましいのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1-2 において、「公民館の本来の機能（ひとづくり機能）が発揮しきれていない」という表現があるが、これは、公民館の実態を把握したうえでの記載なのか。</li> <li>・地域自治組織の設立から年月が経ち、設立時に描いた「地域の将来像」の認知度が住民の中で低下している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域の将来像」を地域自治組織内で見直すなど、行政など周囲からではなく、地域自治組織の内部から地域づくり体制の見直しに取り組むことが求められる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区で地域自治組織を設立し、地域の状況や特性に応じて活動を推進してきた経緯があるため、20 地区がバラバラに活動しているように見えるかもしれないが、実際は、市が示している地域自治組織の役割の範囲内で活動しているのではないか。</li> <li>・ 地域内で活動内容を整理して、「共助」の範囲も含め、再考する機会があると良い。</li> <li>・ 副委員長の提案によると「地域づくり・ひとづくりの区別をしない 4 名体制を構築する」ということだが、現行の地域マネージャーはどのような配置になるのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域自治組織がボトムアップで地区住民がどうありたいかを考えていくようなシステムになっている点は評価できる。</li> <li>・ 活動によっては「地域づくり」と「ひとづくり」が重複してくるものもあると考える。</li> <li>・ 副委員長の提案では「ひとづくり」と「地域づくり」に一体的に取り組むということだが、その際に障壁となる事項を洗い出す必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副委員長の提案にある体制に移行した場合、現在地域マネージャーを配置している地区の取り扱いや、地域マネージャー自体の配置がどのようなになるのかが疑問である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域マネージャーを含めた人員体制については庁内でも検討を進めている。本委員会での意見を参考に今後も議論を進めていく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域マネージャーの配置など、地域づくり体制の見直しにあたっては、地域自治組織に選択肢を示すことが必要であり、公的支援や専門性を保有した人の支援が必須となる。</li> <li>・ まちづくりプランを改定する際には、住民同士で話し合い、必要に応じて「むらおさめ」の考えを取り入れることも考えられる。まちづくりプラン改定にあたっては、各地区の実態についての個別診断も必要となる。</li> <li>・ 人的支援にあたっては、社会教育機能を担保する必要があるので、社会教育士や社会教育主事の資格を有する者を配置するなど制限を設けるべきであると考えられる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり体制について議論する前に、地域マネー</li> </ul>

	<p>ジャーと地域応援隊員の違いや、地域マネージャー制度の導入による効果を明確に示すべきではないか。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域自治組織と公民館のあり方について、市として「ひとづくり」と「地域づくり」を一体とする方向性を示し、社会教育機能を担保する体制を整えていくことが重要。</li> <li>・ 地域自治組織は住民の自治により運営される組織であるため、内発的な動きが必要となる。地区ごとの内発的な動きによる自由度は担保しつつ、行政や中間支援組織の伴走支援が必要となる。</li> <li>・ 意見として、地域自治組織が地区の調整役としての機能のみを担うことで、負担が増す地区もあるのではないかと考える。</li> </ul>
審議経過	<p>(2) 施策体系比較表について (資料 2)</p> <p>○施策体系比較表について事務局より説明</p>
	<p>(3) 今後の協議日程について (資料 3-1、3-2)</p> <p>○今後の協議日程について事務局より説明</p>
	<p>(4) 意見交換</p> <p>○無住化危惧集落について委員長より説明</p> <p>○委員長の説明・計画目次案をもとに意見交換</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の中山間地域を見据えて、振興計画の基本となるプランや医療・食・住というような柱となる項目が示してあるとよい。</li> <li>・ ビジネスケアラーが問題となっており、働きたくても働けない方が中山間地域で増えている。介護に関する取り組みも記載してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケジュールでは策定委員会をあと 2 回開催し成案とする予定であるが、計画の内容等を議論する時間が限られている。円滑な議論のために、案を事前に示してもらえるとありがたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画の目次案が「益田市中山間地域将来ビジョン」に基づいた項目となっているが、ヒアリング調査結果等をふまえ、変更点があってもよいと考える。</li> <li>・ 「小さな拠点」という言葉は益田市民にとって聞き慣れない言葉なのではないか。</li> <li>・ 地域づくり体制が重要になってくるので、施策の 1 つ目では、計画推進の基盤となる「ひとづくり」と「地域づくり」の一体的推進について、各地区における体制構築の基本となるものを示すべきだと考える。</li> <li>・ 『『ウェルビーイング』の実現』のカテゴリで掲げている施策（地域医療体制の確保、一人暮らし高齢者支援の充</li> </ul>

	<p>実)は、「ルーラル・ミニマムの構築」に含めてもよいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「『ウェルビーイング』の実現」の中で、伝統芸能の継承など中山間地域の魅力を残す取り組みについて記載してはどうか。</li> <li>・ 施策の5つ目として、ひとづくりや、関係人口の創出、移住者の拡大等に関する取り組みを掲げるのはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画では、これまで議論してきた地域自治組織と公民館のあり方を明確に示してほしい。</li> <li>・ 地域自治組織の世代交代により、地域の将来像やまちづくりプランの浸透度合いが低下しているように感じる。各地区において、将来像を描き、まちづくりプランを示す必要があることについて計画の中に明記してほしい。</li> <li>・ 県の中山間地域活性化計画との整合性を図るために項目だけを追加した、という形にならないように注意していくべきである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題の整理結果と基本戦略とのつながりが見えづらいように感じるので、章立てを含めた構成の検討が必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域交通を確保しても利用することができない方がいる。その状況を考慮して、住民が本当に移動できる方法を考えるべきではないか。</li> <li>・ 「自助」と「公助」の間を埋めるための行政支援が必要なのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他地域へ訪問する、あるいは他地域から来てもらうという人の流れをつくるのが今後の地域にとって必要となるのではないかと考える。</li> <li>・ 「地域づくりフォーラム」のように、地域自治組織、各種団体及び住民等が学びあい交流する場が必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の中に施策が盛り込まれているように感じる。計画のポイントを明確に示すことが重要なのではないかと。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民の意見を反映して計画を作り上げていくことが理想なのではないか。</li> <li>・ 地域住民にも計画内容の周知を図ることが必要である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくりの体制の構築にあたっては、各地区の内発的な取組も重要である。市として、そうした動きを広げていくための対話の場を整える必要があると認識している。</li> </ul>
審議経過	閉会

問合せ先	政策企画局連携のまちづくり推進課 電話 0856-31-0600
------	-------------------------------------